



www.hanaiyusuke.com

OUT OF THE CLOSET

最近、モンキーズのデビュー当時のアルバムが5枚組のボックスセットになって再発売された。2〜3枚買うなら5枚組を買ったほうがいいぐらい良心的なプライスだ。俺もレコードは何枚か持っていたが、この5枚のなかでは1枚しかCDを持っていなかったの、買うことにした。俺が一番好きなのは4枚目の「Pisces, Aquarius, Capricorn & Jones Ltd」(邦題/スターコレクター)だ。俺はポップソングが大好きなんだけど、このアルバムはそんな俺を大満足させてくれるポップの王道ばかりが入っている。カントリーロックというジャンルが生まれるきっかけになった曲「What Am I Doing Hanging Round」も収録されている。俺にとってはあの時代のトップ10に入るアルバムだ。

そもそもモンキーズはアメリカのプロデューサー達が、ビートルズの映画『ハード・デイズ・ナイト』にヒントを得て、テレビ番組のためにオーディションをして人を集めたバンドだ。メンバーもビートルズと同じ4人。ヘアスタイルもビートルズカット。そのなかで、本物のミュージシャンはふたりだけ。マイケル・ネズミスとピーター・トークだ。あとのふたりは歌える役者、ミッキー・ドーレンズとデイビー・ジョーンズだ。そんなふうにスタートしたバンドだから、音楽業界からバカにされるのは仕方ない。モンキーズは60年代のロックファンにとって、本当のバンドではなかったんだ。ビートルズやローリング・ストーンズ、ザ・バーズなどが全盛期だった60年代は、ビートルズがそうしたように、自分達が曲を書き、自分達が楽器を弾くのが当たり前になっていた。そんなだから、俺達ロックファンはモンキーズを好きだとは言えなかった。子供の音楽だと軽視していた。いや、そう思わなければいけないような風が吹いていた。俺は中学生の頃、年上のアメリカ兵から彼のいらぬモンキーズのアルバムを何枚ももらった。モンキーズは、そんなふうに扱われる存在だった。俺も実際買っていなかった。もしレコード1枚分のお金しか手元になかったら、間違いなく違うアーティストの作品を買っただろう。

今、聴いてみると、当時のレコードのなかでは、彼らのアルバムはクオリティーが高い。というのも、歌っているのは彼らメンバーだが、実際に演奏しているのは、アメリカのトップのスタジオミュージシャン達だからだ。実は当時のアメリカのバンドは、ほとんどがそんな状態だったという。あのザ・バーズでさえ、デビューアルバムはほとんど楽器を弾いていない。楽曲もキャロル・キングやニール・ダイヤモンドなどといった、その頃のトップのソングライター達を使っていた。そのおかげでレコードの仕上げは最高だ。その上、メンバーのマイケルは曲をつくることもできたから、3枚目のアルバムからは自分達で弾いている。4枚目にいたっては、完成度も高いんだ。

とにかくにも、俺は隠れファンであった(!)。いってみれば、クローゼット・モンキーズファンだったんだ(俺の作った言葉だけど)。実はいつも聞いていたし、全曲知っていたけど、友達と音楽の話をする時はモンキーズの話はあえてしなかった。中学校のバンド仲間とモンキーズをやろうと言えば、馬鹿にされるのはヤマヤマだ。でもこの年になって、やっと「俺はモンキーズが大好きだ!!」と叫べるようになった。そんなふうに声をあげたら、周りにクローゼット・モンキーズファンはたくさんいた。本当にこの年になって良かったよ。大人になると格好をつけなくていいようになるよね。高いスーツも必要だけど、ジーンズが一番心地よくなる。昔に戻るんだ。俺は、若い時に履いていた、ジーパンにもどってしまった。そのジーパンで、モンキーズを聴くとリラックスする。もう大手を振っていえるよ、モンキーズが大好きだって。



ARTIST : ROD STEWART
ALBUM TITLE : ATLANTIC CROSSING
LABEL : WARNER BROTHERS
NUMBER : WPCR-75098
RELEASE DATE : 1975

PROFILE

ジョージ・カックル

1956年鎌倉生まれ。日本人で日本舞踊の師匠の母とアメリカ人でヨットマンの父を持ち幼少時代を日本・テキサス・韓国で過ごす。小学3年生でビートルズに開眼。LAで有名なサーフポイントでの初サーフィン体験。この原体験が彼のその後の人生を決定付ける。日本での学生生活の後、憧れのインドをはじめ世界を放浪し、ハワイ経由でサンフランシスコに移り住み18年間波乗り明け暮れた。1995年帰国後、生まれ故郷鎌倉へ音楽マネージメント&制作会社を立ち上げ、日本のミュージックシーンにbabamaniaなどを輩出。音楽プロデューサー、コラムニスト、作詞家(マッドカプセルマーケット、阿川泰子など)として、2006年の8月には子供の英語・音楽教育用の本『ウクレレ・マミー・アンド・ミー』を出版。古今東西の音楽と文化と人間臭さをこよなく愛し日本と世界を結び架け橋になりたいと願い、今日もポップ・マリーを聞きながらサーファーとしても多忙な日々を送っている。現在、インターFM(76.1)毎週日曜日、9:00~13:00 レイジーサンデーを担当。

SHONAN BEACH FM 78.9
STARLIGHT CRUISING
Thursday 8-10pm